

持続可能な地域社会の実現に向けた 肥後銀行の取り組みについて



2021年3月11日

肥後銀行

代表取締役頭取 笠原 慶久

肥後銀行



九州フィナンシャルグループ



投融資に関する指針 (2019年7月制定)

1. 私たち九州フィナンシャルグループは、持続可能な社会づくりに向け、お客様や地域の環境・社会問題解決につながる自律的で責任ある投融資を推進します。

2. 投融資を行うにあたり、財務情報はもとより環境・社会に与える影響等の観点も重視し、適切な判断を行います。

以下に例示するような事業に対して、積極的に支援を行います。

① **脱炭素社会実現に向けた二酸化炭素排出削減など気候変動の抑制に資する事業**

② 水資源や森林資源、絶滅危惧種の保護など生物多様性保全に資する事業

③ 農林水産業、観光業など地域の基幹産業の振興に資する事業

④ 世界遺産および有形・無形文化財等の文化財保全に資する事業

⑤ 防災・減災に資する事業

⑥ その他、持続可能な社会づくりに資する事業

なお、以下のような先には投融資を行いません。

① 人身売買など人権侵害や強制労働への関与先

② クラスター弾など非人道的な兵器の開発・製造の関与先や、規制・制裁対象先

ESG投融資の推進

2019年投融資残高：**地銀初**
(目標) 5,000億円 (実績) 5,588億円

2020年投融資残高：
(目標) 6,000億円

CO₂ 排出削減に
資する企業の
設備投資を後押し

環境省「地域ESG融資促進利子補給事業」を活用し、ESG投融資を推進

サステナビリティ推進の取り組み（パートナーシップ）

金融機関・環境省



中・南九州の地域循環共生圏に関する連携協定（2020年1月）

17
パートナーシップで
目標を達成しよう

SDGs
未来都市



熊本市とのSDGs推進に関する連携協定（2020年1月）



小国町とのSDGs推進に関する連携協定（2020年5月）

17.17

取り組み内容

- ▶ お客様用ポリ袋廃止（2020年7月～）
- ▶ 国立公園オフィシャルパートナーシップ協定
- ▶ Eバイクを活用した国立公園内での共同イベント（2021年度開催予定）
- ▶ 4行共同投資信託の開発（2021年度取扱開始予定）

熊本県SDGs登録制度の創設



熊本県・熊本市等と連携し、**熊本県SDGs登録制度**を創設。
（2021年4月開始）

登録企業
専用ロゴマーク

熊本日日新聞の記事（2021.1.21）

地下水保全

阿蘇「大観の森」での植樹

水源涵養林の育成のため、累積59ヘクタール、13万本以上の植樹を実施。（2006年～）



「大観の森」での植樹



6.1



13.3



15.1.2

地下水保全

「阿蘇水掛けの棚田」での稲作

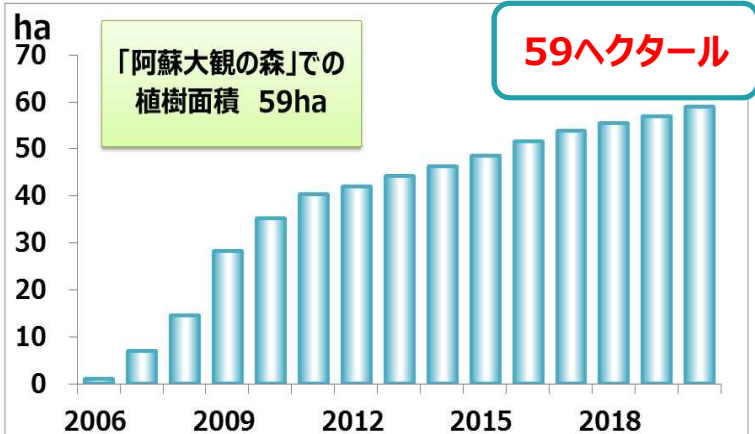
耕作放棄地を利用し棚田を再生し、農業による水田湛水事業を実施。（2011年～）



「水掛けの棚田」

これまでの活動実績について

植樹面積



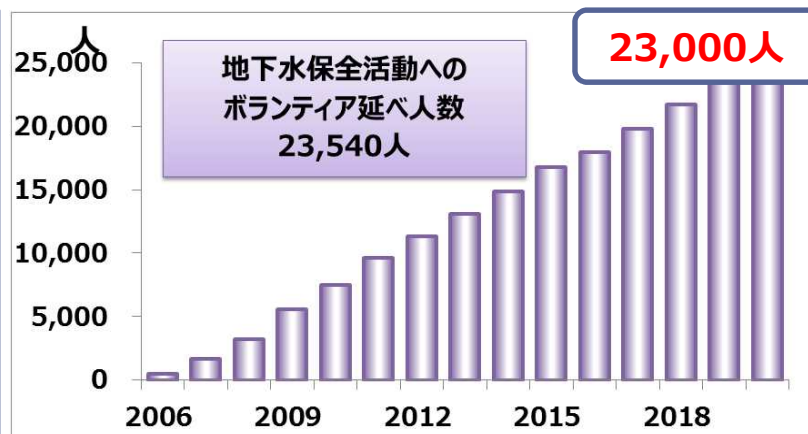
田植え面積



植樹本数



ボランティア人数





TCFD提言への賛同

2019年6月

九州地銀初かつ
地銀2例目

TCFD提言の賛同・情報開示

【2020年度統合報告書】
CO2排出量算定高度化（スコープベース導入）

【2021年1月】
グループの環境方針制定

脱炭素社会の実現に向けて
積極的に取り組むことを明記

【環境省パイロット事業採択】
気候変動に関するシナリオ分析着手（定性・定量）



PRB（国連責任銀行原則）署名

2020年9月

九州地銀初かつ
地銀2例目

サステナビリティ推進に向け、
SDGs・パリ協定に整合するPRBの署名

- ・サステナビリティ・リンクローン等商品開発
- ・ESG投融資の精緻化
- ・サプライチェーン全体のCO2排出量算定（間接排出量算定：スコープ3）

グループ一体で取り組み推進

資源循環経済（サーキュラーエコノミー）への移行

- カーボンニュートラル達成に向け、再エネ拡大だけでなく、資源循環の取り組みも推進

トランジションファイナンスの推進 （脱炭素に向けた資金供給）

- 企業の脱炭素経営に向けた金融支援
- 国の利子補給事業の予算拡大、手続き簡素化

ありがとうございました



九州フィナンシャルグループ

肥後銀行